

2005年 6月 3日(金)

株式会社リクルート
住宅情報ディビジョン
ディビジョン長 和田 登

2004年の新築分譲マンション供給戸数は6年連続で8万戸の大台を突破し、大量供給の傾向が依然続いています。なかでも都区部や湾岸エリアでの供給がますます進んだ一年でした。住宅ローン控除も2004年末までの入居なら最大に受けることができ、消費者にとっては「多くの選択肢の中から」、「有利な税制で買える」年だったと言えるでしょう。一方で購入者のプロフィールを見ますと若年層や夫婦共働き層での購入が進んでおり、団塊ジュニアと呼ばれる世代の台頭が感じられます。好環境を続ける住宅市場における契約者の実態とはどんなものなのでしょうか。

弊社では、契約者の実態をつかむために2000年より首都圏の新築分譲マンション契約者を対象とした調査を行っております。今回は2004年(1月～12月)の契約者動向がまとまりましたので、過去との比較も含めてご報告いたします。

- **2004年は団塊ジュニア世代が購入適齢期に入ってきたと考えられる。30代前半購入者が、2001年から年々上昇し、2004年は34.1%。購入平均年齢は36.0歳で、昨年を更に下回り過去4年で最も低い年齢となった。子供あり世帯の割合が年々減少する一方で、DINKSとシングル世帯が増加。**
 1. 世帯主の年齢は「30～34歳」が34.1%で最も高い。2001年の30.5%から3年間で3.6ポイント増加。(→ 3P)
 2. 世帯主の平均年齢は36.0歳で、2001年と比較すると3年間で1.1歳若くなっている。(→ 3P)
- **シングル世帯の68.3%は東京23区内に購入しており、購入理由は「資産形成」を目的としたものが他と比べて高い。この割合はシングル世帯の東京23区購入者で見ると更に高い。**
 3. シングル世帯が東京23区内に購入する割合は、68.3%と非常に高い数値。(→ 4P)
 4. シングル世帯全体の購入理由で「資産を持ちたい、資産として有利だと思った」の割合は23.1%、シングル世帯で東京23区購入者で見ると27.3%と購入理由で3番目に高い割合となっている。(→ 9P)
- **自分の暮らしにあったエリアを重視する傾向が更に高まる。「イメージの良いエリア」「通勤アクセスの良いエリア」「生活環境の良いエリア」は、年々重視度が増し過去3年で最も高い割合となっている。**
 5. 全体の中での割合は低いものの「イメージの良いエリア」は2002年と比較すると4.6ポイント増加。「通勤アクセスの良いエリア」は3.5ポイント、「生活環境の良いエリア」は2.6ポイント増加しており、エリア重視の傾向が強まっている。(→ 10P)

■本調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

http://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

<<目次>>

調査概要	・・・・・・・・	2
回答者Profile		
1 世帯主年齢／ライフステージ／世帯年収／入居人数	・・・・・・・・	3
2 契約前居住形態／購入物件所在地／契約前住所	・・・・・・・・	4
<<2004年の特徴>>全体TOPICS		
3 専有面積	・・・・・・・・	5
4 契約前後の面積と住居費の変化	・・・・・・・・	6
5 物件価格／ローン借入、返済状況	・・・・・・・・	7
6 自己資金／贈与の有無と額	・・・・・・・・	8
7 購入理由	・・・・・・・・	9
8 重視条件	・・・・・・・・	10

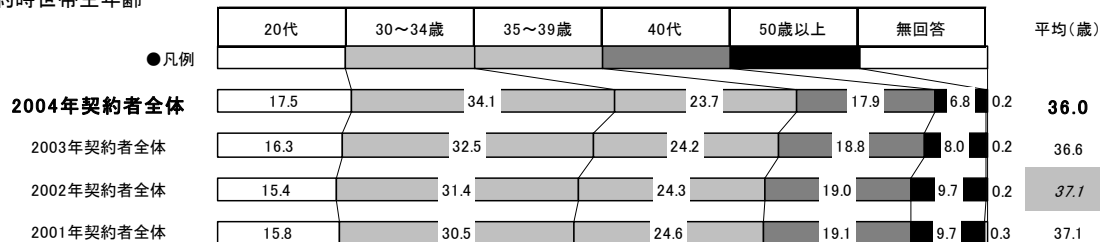
<<調査概要>>

■調査目的	...	首都圏新築分譲マンション契約者の、購入物件・購入行動・購入意識など購入動向を把握する
■調査対象	...	2004年1月～2004年12月の首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)新築分譲マンション購入契約者 ※2004年1月～2004年12月の契約者の確認 ⇒ 回答票に契約書コピーの添付を依頼
■調査方法		郵送返送法
△協力依頼	...	首都圏各種メディアおよび直接投函等を通して調査対象者へ協力依頼 一般新聞広告／タウン誌広告／住宅情報STYLE・タウンズ(首都圏版) ／電車中吊り広告／DM／ISIZE住宅情報(住宅情報ナビ)／直接投函等
△調査票の送付	...	協力意向者に対して郵送にて送付、一部直接投函
△調査票の返送	...	郵送法
△調査票の集計	...	物件種別を問わず首都圏での全新規住宅購入契約者を対象とした一次調査票、及び新築マンション契約者のみを対象とした二次調査票により集計
■集計対象期間	...	2004年1月～2004年12月
■集計数	...	計3,743件
【経年のデータについて】		
2003年契約者	: 4,616件	(2004年5月発表)
2002年契約者	: 5,873件	(2003年6月発表)
2001年契約者	: 6,919件	(2002年4月発表)

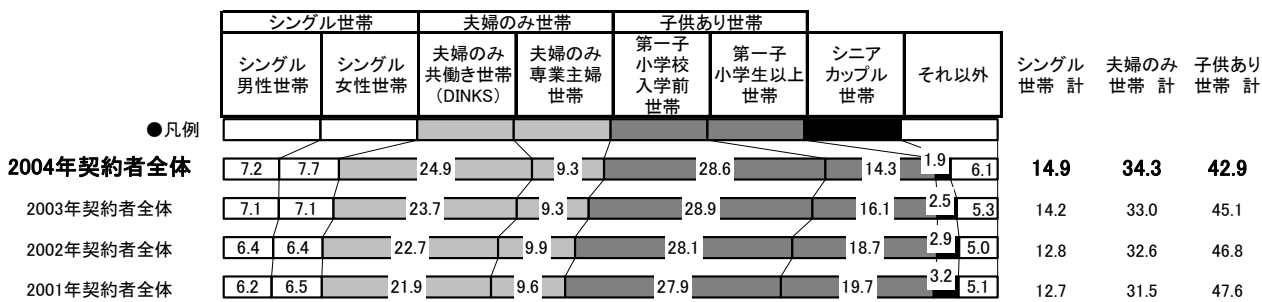
※なお、一部の項目については集計に問題があったため、数値を修正している
(修正箇所の数値は図表では斜体表記、かつ灰色のアミかけで表示／文中では斜体表記)。

- 世帯主年齢は30代前半が最も多く34.1%、次いで30代後半が23.7%、40代が17.9%と続く。平均年齢は36.0歳。2003年の36.6歳より若干若く、2002年の37.7歳と比較すると1歳以上若くなっている。
- 夫婦のみの世帯の割合が年々高まる一方で、子供あり世帯が年々減少している。特に「夫婦のみ共働き世帯（DINKS）」の増加と「第一子小学生以上世帯」の減少が顕著。また、シングル世帯も年々増加傾向にある。
- 世帯年収は600～800万円未満が28.3%で最も高く、次いで400～600万円未満が27.0%となっている。
- 入居予定人数は「1人」「2人」の割合が年々増加する一方「4人」が年々減少している。平均で見ると、過去4年で最も少ない2.5人となっている。

■契約時世帯主年齢

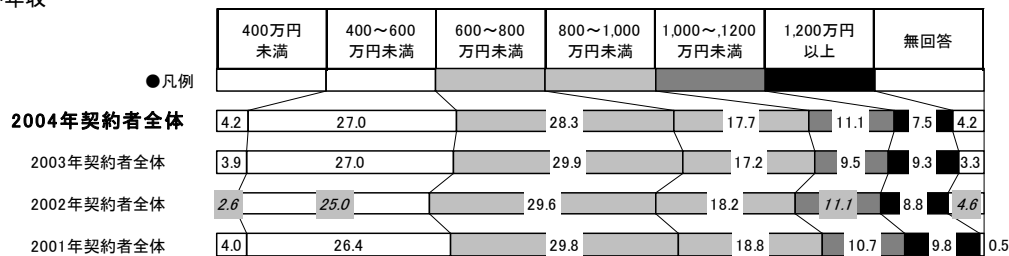


■ライフステージ

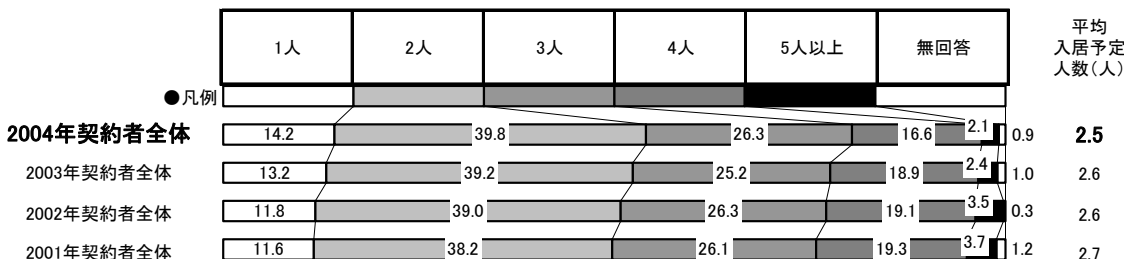


ライフステージについては、「シングル男性」「シングル女性」「夫婦のみ共働き(DINKS)」「夫婦のみ専業主婦」「第一子小学校入学前」「第一子小学生以上」「シニアカップル」と分類した。
 ※「シニアカップル」は、世帯主年齢が50歳以上の夫婦のみ世帯。
 ※「夫婦のみ世帯計」の表記には上記「シニアカップル」を除外している。

■世帯年収

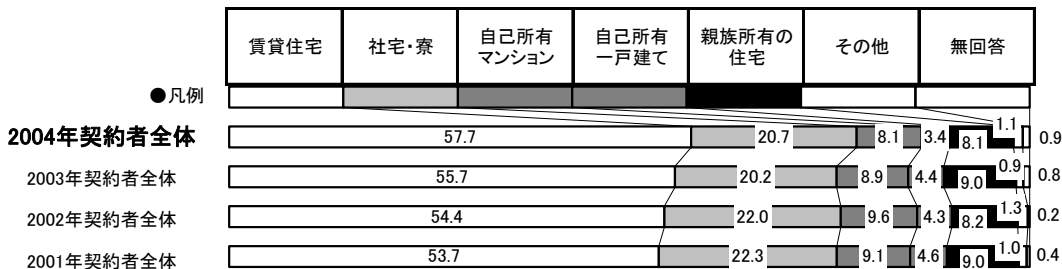


■契約した物件への入居予定人数

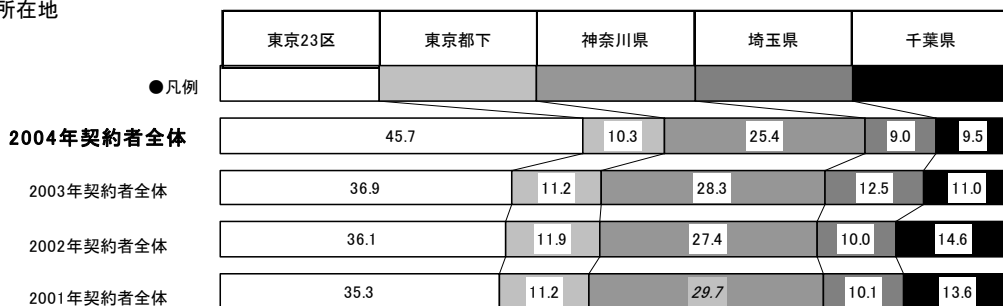


- 契約前居住形態は、「賃貸住宅」が57.7%で最も高く、次いで「社宅・寮」20.7%となっている。賃貸住宅の割合は年々増加傾向にある。
- 購入物件所在地を見ると、「東京23区」が45.7%で圧倒的に高くなっている。物件供給数が多いことが影響してか、2001年～03年では36%前後であったシェアが2004年では10ポイント程度上昇している。
- これを、契約者ライフステージ別に見ると、「シングル世帯」における「東京23区」購入率は68.3%と圧倒的に高い。
- 一方、契約前住所で見ると、新築マンション購入者全体の38.0%が「東京23区」居住者であり、2003年と比較して大きく伸びていることがわかる。

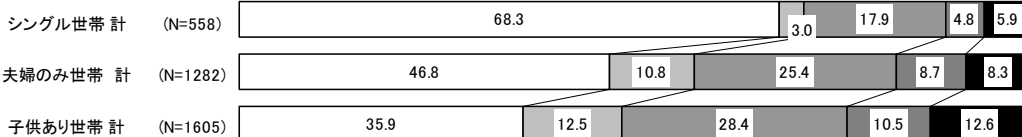
■契約前居住形態



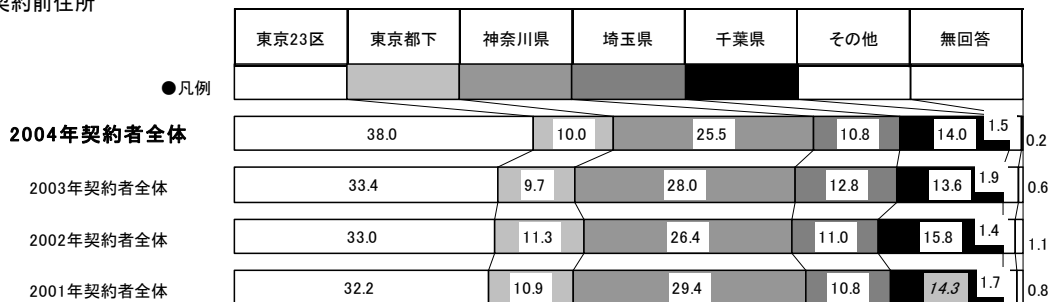
■購入物件所在地



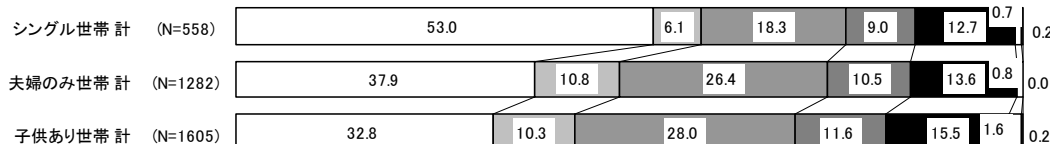
2004年契約者ライフステージ別



■【参考】契約前住所

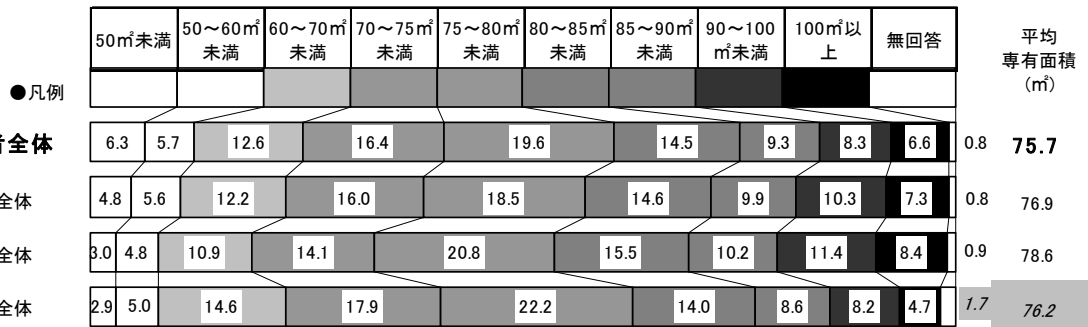


2004年契約者ライフステージ別

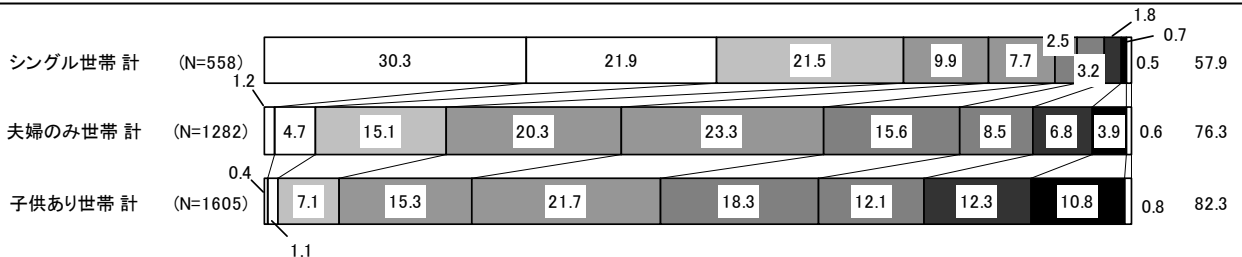


- 専有面積を確認すると、「75~80㎡未満」が19.6%で最も高く、次いで「70~75㎡未満」16.4%となり、「70㎡台」で全体の36.0%を占めている。平均専有面積は75.7㎡で、過去4年で最も狭くなっている。
- 契約者のライフステージ別で見ると、「シングル世帯」は圧倒的に狭く「60㎡未満」が52.2%と過半数を占める。一方、「子供あり世帯」では平均専有面積が82.3㎡と全体に比べて6.6㎡広い。
- 購入物件の所在地エリア別で見ると、「東京23区」で「60㎡未満」が21.8%と高い割合を示している。平均専有面積を見ても69.7㎡と唯一70㎡を下回るエリアとなっている。一方、「千葉県」では「100㎡以上」が17.9%と高く、平均専有面積も86.1㎡ですべてのエリアの中で最も広い。

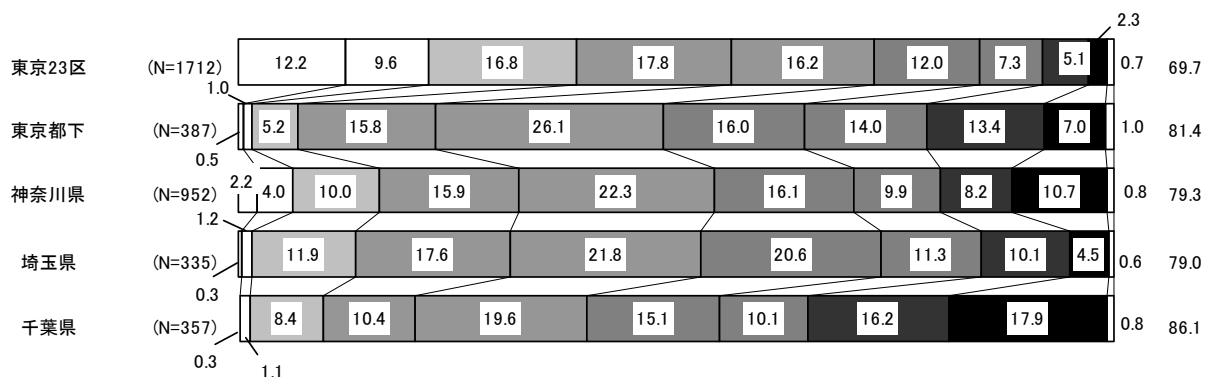
■ 専有面積



2004年契約者ライフステージ別



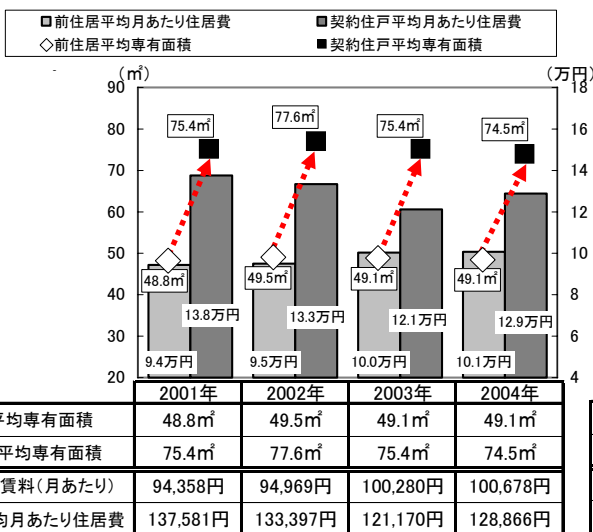
2004年契約者購入物件所在地エリア別



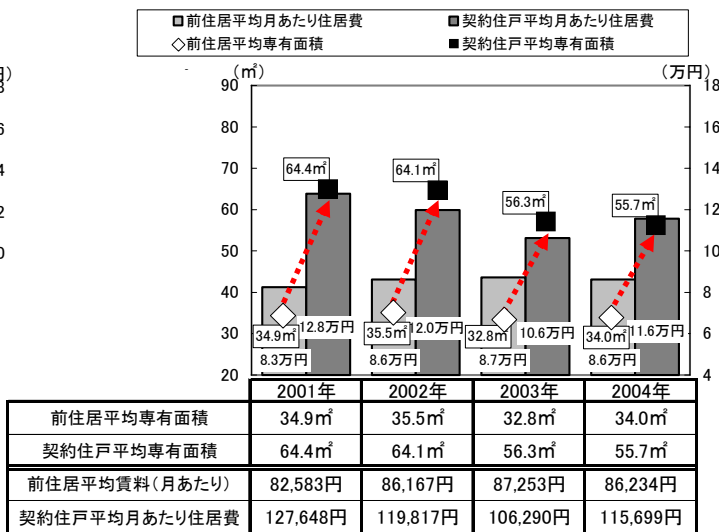
- 契約前の居住形態が賃貸住宅の世帯を抽出し、賃貸居住時の月あたり住居費（管理費含む）および面積と契約住戸の月あたり住居費（※）および面積を比較した。
 - 月あたり住居費を比較すると、2004年では賃貸時が約10.1万円に対して契約住戸では約12.9万円と、約2.8万円のコスト増となっている。一方、面積を比較すると、賃貸時が49.1㎡なのに対して契約住戸は74.5㎡と、25.4㎡も広がっている。
- ※ 契約住戸の月あたり住居費・・・（毎月ローン返済額 × 12 + ボーナス時加算ローン返済額 × 2） ÷ 12 + （管理費、修繕積立金）

■契約前後の面積と住居費の比較 （前住居賃貸ベース）

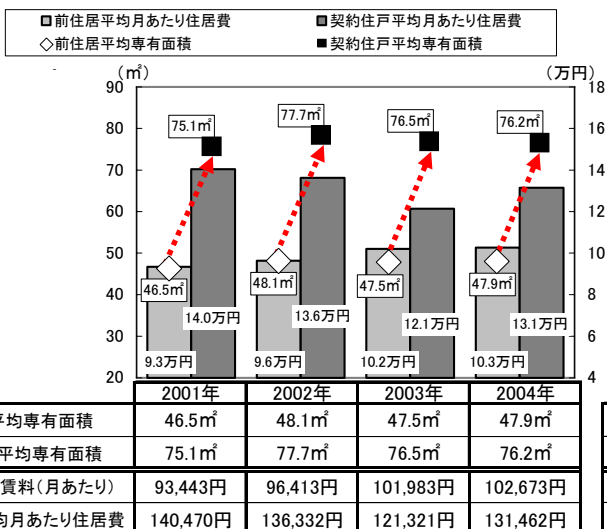
契約者全体



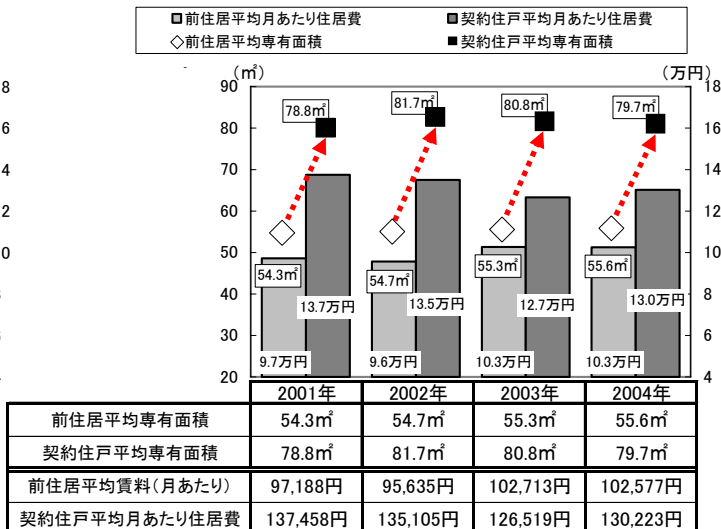
シングル世帯計



夫婦のみ世帯計

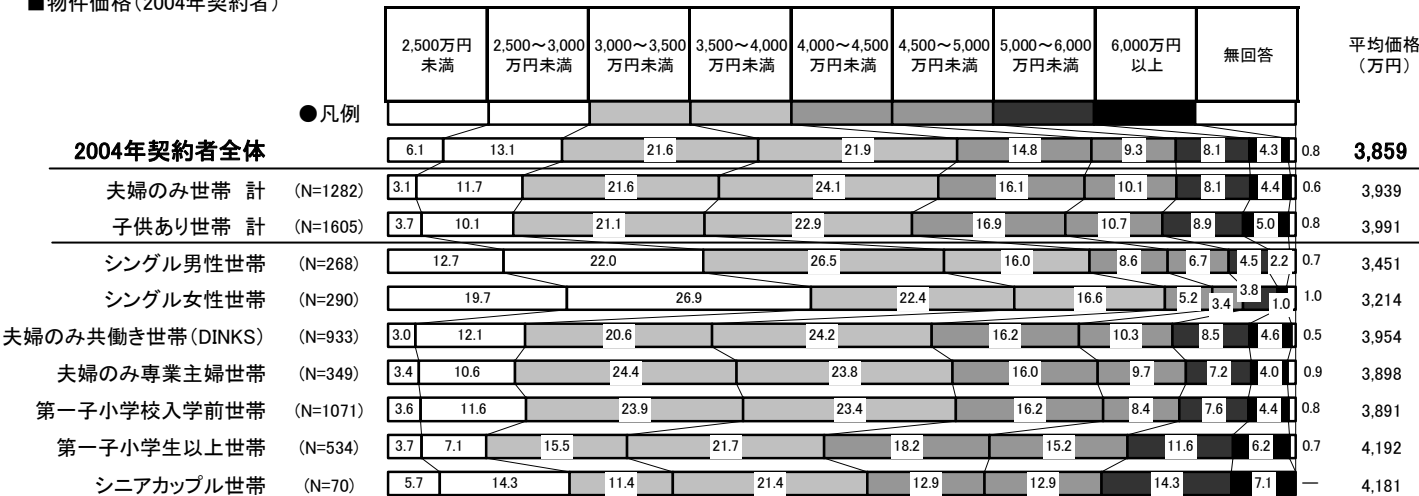


子供あり世帯計

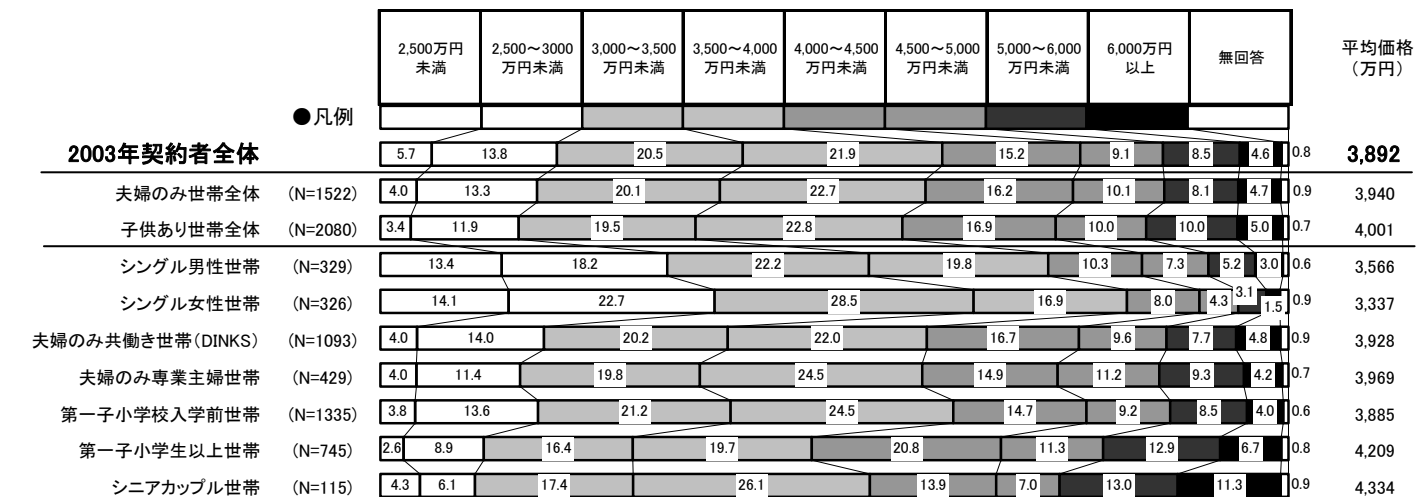


- 昨年と比べて、物件価格の分布に大きな違いは見られないが、平均価格では2004年度は33万円の減少となっている。
- 「シングル世帯」では、男性・女性共に、3,000万円未満の比率が2003年に比べ高くなっており、特に「シングル女性世帯」では2003年よりも約10ポイント高くなっている。
- ローン借入総額は若干減少しているが、毎月返済額は約9,000円増加している。
- ボーナス時加算利用率が大幅に減少している一方で、ボーナス時加算額は約1.9万円上昇している。

■物件価格(2004年契約者)



■物件価格(2003年契約者)



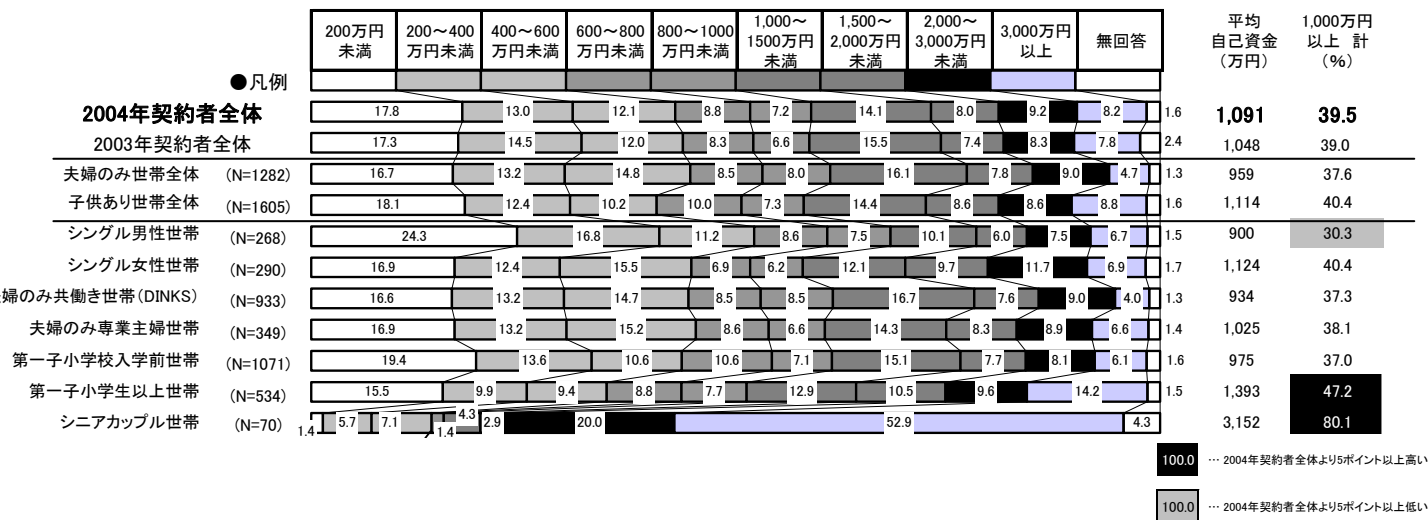
■ローン借入、返済状況(ローン借入者ベース)

	ローン借入総額 (平均、万円)	ローン返済期間 (平均、年)	年間返済額 (平均、万円)	毎月返済額(平均、百円)		ボーナス時加算利用率(%)	ボーナス時加算額 (平均、百円)	
				全体	ボーナス時加算あり			
2004年契約者全体	2,911	31.2	134.6	992	1,052	885	35.3	2,116
2003年契約者全体	2,915	31.4	125.2	903	969	818	40.9	1,924
2004年契約者 ライフステージ別								
夫婦のみ世帯全体	3,030	32.1	135.1	1,008	1,056	916	33.4	2,035
子供あり世帯全体	2,970	31.0	139.3	1,003	1,087	883	41.4	2,237
シングル男性世帯	2,772	31.3	121.3	889	942	803	37.4	1,864
シングル女性世帯	2,287	30.4	111.1	877	909	738	18.1	1,526
夫婦のみ共働き世帯(DINKS)	3,064	32.3	136.2	1,029	1,070	943	29.8	2,001
夫婦のみ専業主婦世帯	2,937	31.6	132.1	950	1,007	865	43.2	2,101
第一子小学校入学前世帯	2,948	32.3	133.5	967	1,040	866	41.0	2,054
第一子小学生以上世帯	3,017	28.2	151.9	1,082	1,194	918	42.1	2,623

※シニアカップル世帯はサンプル数些少につき掲載せず

- 自己資金はやや増加傾向にあり、平均では43万円増加している。
- 贈与を受ける割合は昨年より3.9ポイント減少し、30.6%となっている。
- 世帯主の年代別に見ると贈与を受ける割合は若年ほど高い。ただ、20代は過去4年で最低の割合で、初めて40%を切っている。すべての年代で割合が減少している中で、30代後半においては0.6ポイントの減少にとどまっている。

■自己資金(2004年契約者)



■贈与を受ける割合(年代別・ライフステージ別／過去4年)

		2001年	2002年	2003年	2004年
年代別	契約者全体	28.3	30.1	34.5	30.6
	20代	41.2	41.3	42.8	38.8
	30~34歳	34.4	38.4	43.0	36.5
	35~39歳	28.4	28.7	30.4	29.8
	40代	19.8	20.2	25.9	20.7
	50歳以上	4.6	7.9	12.3	7.7
ライフステージ別	シングル世帯 計	28.3	26.7	30.3	27.5
	夫婦のみ世帯 計	32.8	35.6	39.0	32.3
	子供あり世帯 計	27.8	29.5	34.6	32.5
	シングル男性世帯	24.5	26.7	25.3	19.2
	シングル女性世帯	31.8	26.8	35.3	35.4
	夫婦のみ共働き世帯(DINKS)	33.1	36.9	39.2	33.3
	夫婦のみ専業主婦世帯	32.0	32.5	38.6	29.5
	第一子小学校入学前世帯	33.8	35.5	38.8	37.1
	第一子小学生以上世帯	19.3	20.5	26.6	23.2
	シニアカップル世帯	3.2	3.6	8.0	1.4

100.0 ... 2004年契約者全体より5ポイント以上高い
100.0 ... 2004年契約者全体より5ポイント以上低い

■贈与額(贈与を受けた世帯ベース)

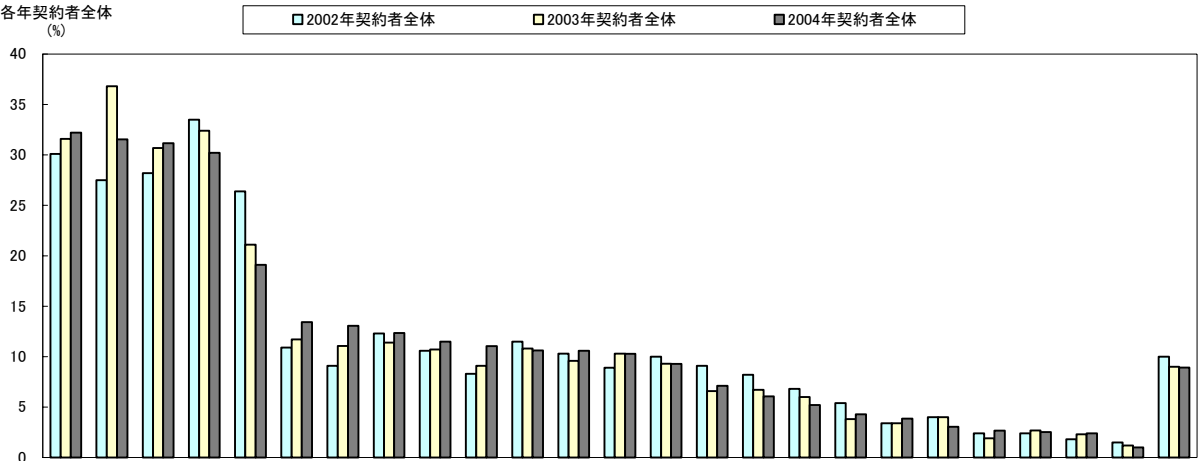
●凡例

	300万円未満	300~500万円未満	500~600万円未満	600~1,000万円未満	1,000~1,500万円未満	1,500~2,000万円未満	2,000~2,500万円未満	2,500万円以上	平均贈与額(万円)
2004年契約者 (N=1116)	20.3	18.5		28.0	7.1	14.8	4.5	3.4	689
2003年契約者 (N=1100)	23.1	19.1		24.2	8.3	14.0	3.7	3.7	683

- 2003年契約者では「金利が低く買い時だと思った」が最も高かったが、2004年契約者では「子供や家族のため、家を持ちたいと思った」が32.2%で最も高くなっている。
- ライフステージ別に見ると、「シングル世帯」が特徴的で、「資産を持ちたい、資産として有利だと思った」「老後の安心のため、住まいを持ちたいと思った」においては、他の属性に比べ高い割合となっている。また、「夫婦のみ世帯」では、「現在の住居費が高くてもったいない」「税制が有利で買い時だと思った」において、他の属性に比べ高い割合となっている。

■購入理由(全体、3つまでの限定回答)

各年契約者全体 (%)



	子供や家族のため、家を持ちたいと思った	金利が低く買い時だと思った	現在の住居費が高くてもったいない	もっと広い家に住みたかった	住宅価格が安くなり買い時だと思った	もっと通勤に便利なおりに住みたかった	税制が有利で買い時だと思った	老後の安心のため、住まいを持ちたいと思った	結婚を機に家を持ちたいと思った	資産を持ちたい、資産として有利だと思った	もっと生活に便利なおりに住みたかった	もっと新しい家に住みたかった	持ち家のほうが住宅の買いが良い	社宅、寮を出る必要があった	もっと駅に近いところに住みたかった	持ち家のほうが自由に使えるおりに住みたかった	もっと自然環境が良いところに住みたかった	当然、自分を持つべきだ	もっと教育環境が良いところに住みたかった	親の関係で住み替える必要に迫られた	まとまったお金が入った	仕事の理由で住み替える必要に迫られた	特別な理由はなかった	持ち家のほうが社会的信用がある	その他
2004年契約者全体	32.2	31.6	31.2	30.2	19.1	13.4	13.1	12.3	11.5	11.0	10.6	10.6	10.3	9.3	7.1	6.1	5.2	4.3	3.8	3.0	2.7	2.5	2.4	1.0	8.9
2003年契約者全体	31.6	36.8	30.7	32.4	21.1	11.7	11.1	11.4	10.7	9.1	10.8	9.6	10.3	9.3	6.6	6.7	6.0	3.8	3.4	4.0	1.9	2.7	2.3	1.2	9.0
2002年契約者全体	30.1	27.5	28.2	33.5	26.4	10.9	9.1	12.3	10.6	8.3	11.5	10.3	8.9	10.0	9.1	8.2	6.8	5.4	3.4	4.0	2.4	2.4	1.8	1.5	10.0

2004年契約者 購入物件所在地別

所在地	子供や家族のため、家を持ちたいと思った	金利が低く買い時だと思った	現在の住居費が高くてもったいない	もっと広い家に住みたかった	住宅価格が安くなり買い時だと思った	もっと通勤に便利なおりに住みたかった	税制が有利で買い時だと思った	老後の安心のため、住まいを持ちたいと思った	結婚を機に家を持ちたいと思った	資産を持ちたい、資産として有利だと思った	もっと生活に便利なおりに住みたかった	もっと新しい家に住みたかった	持ち家のほうが住宅の買いが良い	社宅、寮を出る必要があった	もっと駅に近いところに住みたかった	持ち家のほうが自由に使えるおりに住みたかった	もっと自然環境が良いところに住みたかった	当然、自分を持つべきだ	もっと教育環境が良いところに住みたかった	親の関係で住み替える必要に迫られた	まとまったお金が入った	仕事の理由で住み替える必要に迫られた	特別な理由はなかった	持ち家のほうが社会的信用がある	その他
東京23区 (N=1712)	25.6	31.8	30.0	27.1	21.5	19.5	12.9	12.6	11.9	15.4	11.7	10.8	10.5	8.1	7.0	5.9	3.6	3.9	2.6	3.8	3.2	2.5	2.7	0.9	8.8
東京都下 (N=387)	41.9	31.5	33.9	36.2	14.2	5.7	13.7	12.9	12.1	7.0	6.2	10.3	10.1	11.1	4.4	4.9	9.6	5.7	4.4	2.3	2.3	2.8	1.8	0.3	7.5
神奈川県 (N=952)	35.3	31.8	32.4	31.8	16.7	9.3	12.3	12.6	12.5	7.7	10.6	10.1	10.6	10.7	7.2	6.7	6.9	3.9	3.7	2.2	2.1	3.0	2.4	1.1	9.0
埼玉県 (N=335)	37.9	30.7	32.2	30.1	21.8	10.1	17.0	10.7	11.3	8.4	10.1	10.1	9.0	10.7	8.7	4.2	2.7	4.2	5.1	2.1	3.3	2.1	1.5	1.2	9.9
千葉県 (N=357)	39.8	30.3	29.7	34.5	16.8	6.7	11.8	11.2	6.2	6.2	10.6	11.5	10.1	7.6	8.7	8.1	6.2	5.9	8.7	3.4	1.7	1.4	2.5	2.0	10.1

2004年契約者 ライフステージ別

ライフステージ	子供や家族のため、家を持ちたいと思った	金利が低く買い時だと思った	現在の住居費が高くてもったいない	もっと広い家に住みたかった	住宅価格が安くなり買い時だと思った	もっと通勤に便利なおりに住みたかった	税制が有利で買い時だと思った	老後の安心のため、住まいを持ちたいと思った	結婚を機に家を持ちたいと思った	資産を持ちたい、資産として有利だと思った	もっと生活に便利なおりに住みたかった	もっと新しい家に住みたかった	持ち家のほうが住宅の買いが良い	社宅、寮を出る必要があった	もっと駅に近いところに住みたかった	持ち家のほうが自由に使えるおりに住みたかった	もっと自然環境が良いところに住みたかった	当然、自分を持つべきだ	もっと教育環境が良いところに住みたかった	親の関係で住み替える必要に迫られた	まとまったお金が入った	仕事の理由で住み替える必要に迫られた	特別な理由はなかった	持ち家のほうが社会的信用がある	その他
シングル世帯 計 (N=558)	2.3	34.4	31.0	22.0	24.0	19.5	10.9	20.4	1.1	23.1	14.5	12.0	12.2	6.8	7.9	8.2	2.2	4.5	0.7	6.6	4.7	3.0	5.9	1.6	13.1
夫婦のみ世帯 計 (N=1282)	16.5	35.5	38.9	25.5	18.5	14.7	16.1	10.9	29.0	9.9	9.8	9.0	13.0	5.5	7.4	8.0	3.5	4.8	0.9	2.3	2.0	2.0	2.1	0.7	7.6
子供あり世帯 計 (N=1605)	56.7	28.7	26.9	38.5	17.1	10.9	12.5	9.3	1.6	5.4	9.5	10.6	8.0	13.8	5.9	3.9	7.2	3.7	7.7	2.2	2.2	2.5	1.4	0.9	7.5

2004年契約者 ライフステージ別(東京23区物件購入者)

ライフステージ	子供や家族のため、家を持ちたいと思った	金利が低く買い時だと思った	現在の住居費が高くてもったいない	もっと広い家に住みたかった	住宅価格が安くなり買い時だと思った	もっと通勤に便利なおりに住みたかった	税制が有利で買い時だと思った	老後の安心のため、住まいを持ちたいと思った	結婚を機に家を持ちたいと思った	資産を持ちたい、資産として有利だと思った	もっと生活に便利なおりに住みたかった	もっと新しい家に住みたかった	持ち家のほうが住宅の買いが良い	社宅、寮を出る必要があった	もっと駅に近いところに住みたかった	持ち家のほうが自由に使えるおりに住みたかった	もっと自然環境が良いところに住みたかった	当然、自分を持つべきだ	もっと教育環境が良いところに住みたかった	親の関係で住み替える必要に迫られた	まとまったお金が入った	仕事の理由で住み替える必要に迫られた	特別な理由はなかった	持ち家のほうが社会的信用がある	その他
シングル世帯 計 (N=381)	1.3	33.1	32.3	22.3	24.1	22.3	10.0	21.8	0.5	27.3	14.7	12.1	13.4	5.5	6.0	7.1	1.3	5.0	0.3	6.0	5.2	2.6	6.0	1.3	12.6
夫婦のみ世帯 計 (N=600)	14.0	33.7	36.5	23.8	20.2	21.7	15.7	9.7	30.0	12.2	10.3	10.0	13.7	5.5	7.7	6.8	2.2	3.8	0.8	2.8	2.3	3.0	1.8	0.7	5.5
子供あり世帯 計 (N=576)	53.8	30.4	23.8	35.1	20.3	16.8	13.5	9.7	1.4	6.3	11.3	10.1	6.1	14.1	6.6	4.2	6.3	3.0	6.4	3.0	2.4	1.6	1.0	0.7	8.5

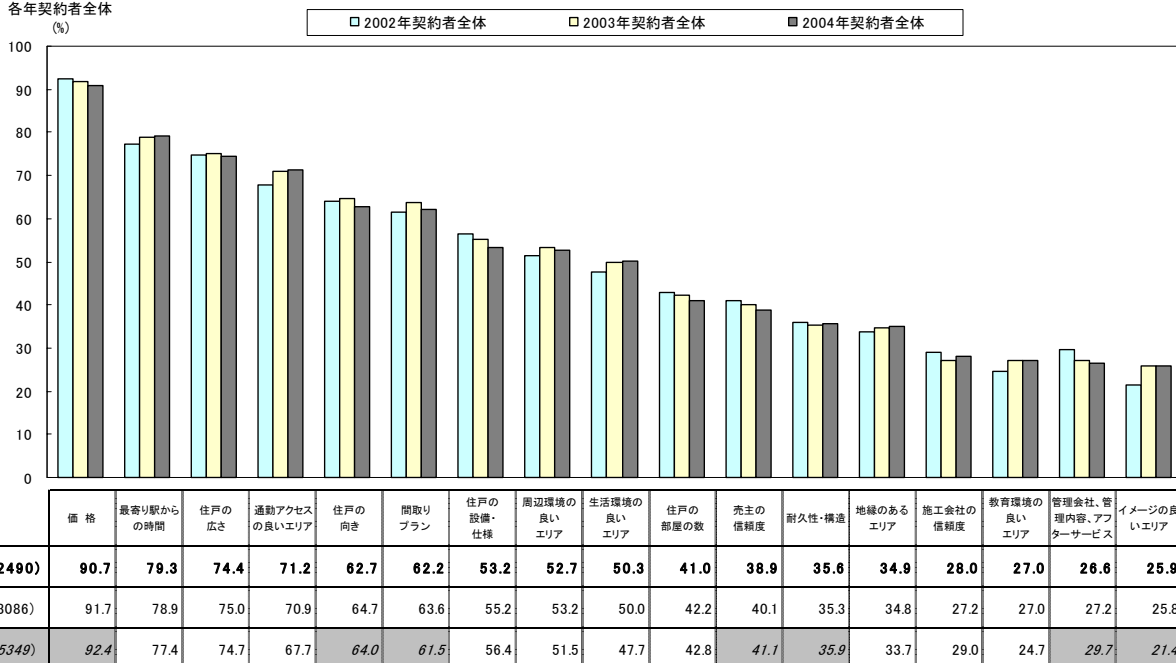
100.0 ... 2004年契約者全体より3ポイント以上高い

100.0 ... 2004年契約者全体より3ポイント以上低い

- 2002～2004年で、重視条件の上位10項目で順位の変動は見られない。
2002年→2003年でも上昇傾向が見られた「エリア重視」は、2004年でも更に上昇している。
2002年と比べ、「イメージの良いエリア」4.5ポイント、「通勤アクセスの良いエリア」3.5ポイント、「生活環境の良いエリア」2.6ポイント、「教育環境の良いエリア」2.3ポイント、とそれぞれ増加している。
- ライフステージ別に見ると、「シングル世帯」「夫婦のみ世帯」共に「通勤アクセスの良いエリア」の比率が高くなっており、「子供あり世帯」では、「住戸の広さ」「生活環境の良いエリア」「周辺環境の良いエリア」など家族・子供の生活環境重視の傾向が高く、ライフスタイルの違いが明確に現われている。

■重視条件(複数回答、無回答を除く)

各年契約者全体 (%)



2004年契約者 購入物件所在地別

所在地	価格	最寄り駅からの時間	住戸の広さ	通勤アクセスの良いエリア	住戸の向き	間取りプラン	住戸の設備・仕様	周辺環境の良いエリア	生活環境の良いエリア	住戸の部屋の数	売上の信頼度	耐久性・構造	地縁のあるエリア	施工会社の信頼度	教育環境の良いエリア	管理会社、管理内容、アフターサービス	イメージの良いエリア
東京23区 (N=1146)	90.0	79.8	72.1	78.0	59.9	60.8	53.8	47.7	48.0	40.8	40.0	37.6	31.6	30.3	22.4	29.5	26.0
東京都下 (N=262)	93.5	81.3	79.8	65.3	71.4	65.6	53.8	62.6	54.2	46.9	34.0	35.9	41.6	22.9	30.2	23.3	22.1
神奈川県 (N=632)	90.2	79.0	74.2	66.6	63.4	60.9	51.9	56.5	49.8	40.7	40.8	35.0	37.3	25.6	29.6	24.8	28.8
埼玉県 (N=224)	92.0	84.8	80.8	65.2	67.9	67.9	52.7	43.3	49.6	38.8	37.1	30.4	34.4	33.5	28.1	22.3	18.3
千葉県 (N=226)	91.6	70.4	74.3	61.9	58.8	62.8	54.0	65.5	59.3	37.6	35.4	31.9	37.2	23.0	38.1	24.8	29.2

2004年契約者 ライフステージ別

ライフステージ	価格	最寄り駅からの時間	住戸の広さ	通勤アクセスの良いエリア	住戸の向き	間取りプラン	住戸の設備・仕様	周辺環境の良いエリア	生活環境の良いエリア	住戸の部屋の数	売上の信頼度	耐久性・構造	地縁のあるエリア	施工会社の信頼度	教育環境の良いエリア	管理会社、管理内容、アフターサービス	イメージの良いエリア
シングル世帯 計 (N=355)	87.3	85.4	65.6	78.6	52.1	59.4	54.9	42.0	45.9	31.3	34.1	28.7	30.7	24.2	3.9	23.7	30.1
夫婦のみ世帯 計 (N=870)	91.4	81.3	71.8	77.1	63.1	64.3	54.4	53.4	47.4	35.6	39.4	37.8	30.8	29.3	16.0	28.9	29.0
子供あり世帯 計 (N=1067)	91.8	75.5	79.9	64.7	65.7	62.8	51.7	56.7	54.8	48.4	39.3	35.1	39.7	27.6	45.8	24.6	22.8

2004年契約者 ライフステージ別(東京23区物件購入者)

ライフステージ	価格	最寄り駅からの時間	住戸の広さ	通勤アクセスの良いエリア	住戸の向き	間取りプラン	住戸の設備・仕様	周辺環境の良いエリア	生活環境の良いエリア	住戸の部屋の数	売上の信頼度	耐久性・構造	地縁のあるエリア	施工会社の信頼度	教育環境の良いエリア	管理会社、管理内容、アフターサービス	イメージの良いエリア
シングル世帯 計 (N=236)	89.0	82.2	64.4	80.1	49.2	59.7	56.4	41.5	45.3	30.9	34.3	28.4	28.8	24.6	3.4	25.4	31.4
夫婦のみ世帯 計 (N=414)	89.4	80.7	72.2	84.3	63.5	63.8	53.4	50.0	44.0	34.3	40.1	38.4	27.1	32.4	13.5	29.2	28.5
子供あり世帯 計 (N=393)	92.6	77.6	77.9	71.8	64.1	61.1	53.7	51.4	55.5	54.7	42.5	40.2	39.4	31.6	44.8	30.5	21.4

※購入物件所在地別、ライフステージ別、23区物件購入者のライフステージ別におけるアミガケは下記の通り(時系列には適用していない)

